

平成10年度 教育相談自主研修と現職教育の実践について
[自主研修計画]

《キ - ワ - ド：関係づくり》

- * 1回2時間程度 4~6時pm
- * 年間10回系統研修
- * 8~10人程度が望ましいので、あらかじめ出欠をとりグル・ピング
- * 当日配布資料の回収及び秘密を厳守

日程 テ - マ 担当 ねらい

4月度 - - 4月28日(金)
新学期のデモンストレーション
予防的意味合い

事例研究「いじめ問題」 2年女子

個性の強い子、異質排除の世界が子供たちの中にあり、友人関係の希薄さ、表面的つきあいの中で、子供たちは「今日の見方は明日の敵」の危機感をもって生活している。さらに、被害者意識をずっとひきずり、傷つきやすい子供が多い現状の中で、「いじめられっこ」に問題がある的考えはタブーではあるが、現実に水面下に沢山のいじめ問題があり、いじめ問題は決してなくならないとしたら、予防的意味合いでいじめられ上手、耐性の強化も必要になってくるという意見もでた。

5月度 - - 5月27日(金)
現職教育
「ロールプレイを活用した教育相談」 講師：S中学校教諭（RP研究者）

事例研究「集団不適応」 1年男子

6月度 - - 6月26日(金)
「共感」とは

実習と講義

C.ロジャースの（来談者中心療法）カウンセラ－の3つの態度「共感・自己一致・尊重」について、画用紙・色紙を使い実習を通して、体得することができた。

8月度 - - 8月19日(水)

カウンセリングの基本演習

事例研究「怠学」 2年男子

口 - ルプレイを使い、授業を抜け出した生徒が職員室にいる教諭と話をするという設定でグ - ルプで役割演技でしたが、子供の心境を感じることができ、これからの指導の在り方について考えるヒントになった。

9月度 - - 10月5日(金)

事例研究「登校拒否(不登校)」 3年男子

長期化した登校拒否の対応や、母子関係の内面的理 解について、担任とS Cが実践してきたことを研究・討議した。特に専門用語を含め心理的事項については、多くのことを学ぶことができた。

10月度 - - 10月30日(金)

事例研究「注意欠陥多動性障害(A D H D)」 1年男子

運動・行動の異常、注意集中困難、学習障害、認知障害、衝動コントロ - ル、対人関係障害情動障害等について、診断と原因、教育や治療まで、詳しい解説のもと、これからの指導に役立つ研修となった。

11月度 - - 11月20日(金)

現職教育

演題「スク - ルカウンセラ - の役割とこれから」 講師：西澤カウンセラ -

スク - ルカウンセラ - としての2年間の活動を振り返り、今後の教育相談活動とカウンセラ - の教育現場での活用の意義についての講演を行った。さらにアンケ - トによりまとめた。

12月度 - - 12月18日(金)

事例研究「行為障害」 2年男子

A D H Dから行為障害までを、心理検査Y - Gも活用し、反社会的問題を考える。